

調布保谷線(三鷹武蔵野区間)環境施設帯検討協議会

調布保谷線だより

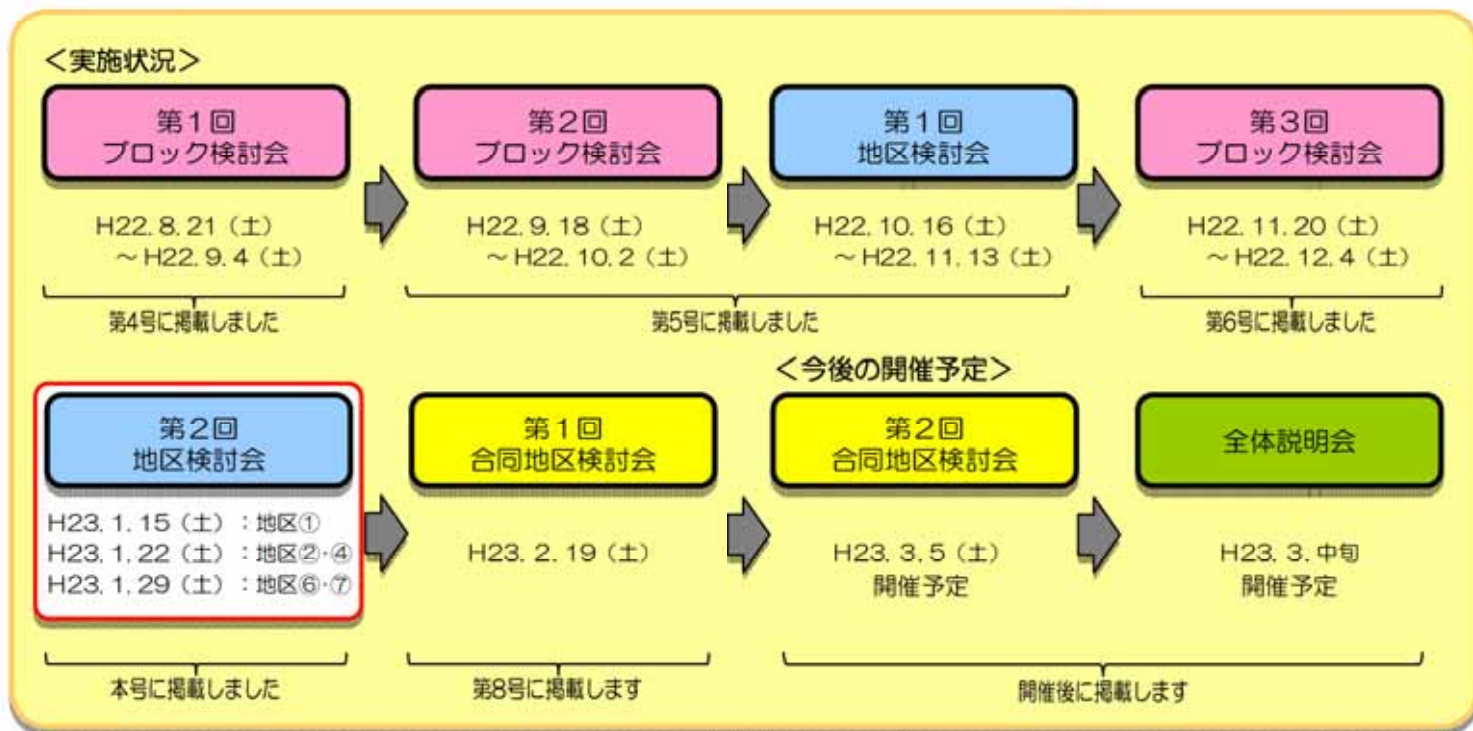
第 7 号
平成23年2月

発行 東京都北多摩南部建設事務所 ☎042-330-1861
〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1

皆様には、日頃から東京都の道路行政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。
東京都では、地域の皆様と検討を進めている内容を広く市民の皆様にもお知らせするために「調布保谷線だより」を定期的に発行しております。本号では、平成22年度実施箇所地区検討会（第2回）の結果を報告いたします。

第2回 地区検討会を開催しました

■平成22年度 ブロック検討会・地区検討会実施状況



目次

- ブロック検討会
 - ・地区検討会の実施状況・・・1p
 - ◇平成22年度地区検討会の実施箇所・・・1p
- 第2回地区検討会の概要・・・2p
 - ◇緑地タイプ・・・2p
 - ◇副道タイプ・・・3p
 - ◇樹種の候補（参考写真）・・・4p
- 今後の進め方・・・4p

◇地区検討会実施箇所



■第2回地区検討会の概要

第2回地区検討会では、第1回地区検討会及び第3回ブロック検討会にて伺いましたご意見・ご要望をご報告し、修正を行った計画図を提示いたしました。

さらに、これまでの検討の結果絞り込まれてきた環境施設帯の植栽帯の配置及び樹種について、緑地タイプ・副道タイプ別にご意見・ご要望を伺いました。

<樹種の候補>

●高木

《地区①・②・④》

- ・ケヤキ（落葉樹）
- ・サルスベリ（落葉樹）

《地区⑥・⑦》

- ・クスノキ（常緑樹）
- ・ケヤキ（落葉樹）
- ・ハナミズキ（落葉樹）

《東京都の提案》

- ・ケヤキ（落葉樹）
- ・シラカシ（常緑樹）
- ・ハナミズキ（落葉樹）等

●中木《共通》

- ・キンモクセイ（常緑樹）

●低木《共通》

- ・ドウダンツツジ（落葉樹）

※参考として写真を4ページに載せてあります。あわせてご確認ください。

◇緑地タイプ

緑地タイプでは、植樹帯の配置について、第1回地区検討会と第3回ブロック検討会において希望の多かった、自転車道と歩道の間を白線のみで分離する「タイプ①」と、一定の間隔で設置する植樹帯で分離する「タイプ③」に対してのご意見を伺いました。

また、樹種について、これまでの検討会において頂いたご意見から樹種の候補を用いて、それに対するご意見を伺いました。（高木については、地区①・②・④と地区⑥・⑦では候補とした樹種が異なります。）

<タイプ①>



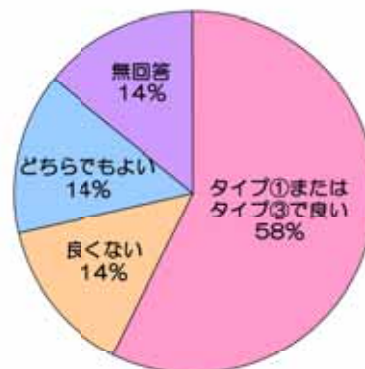
<タイプ③>



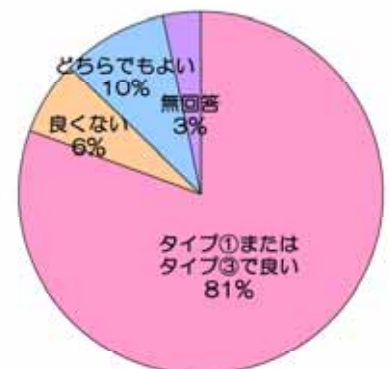
植栽帯の配置

植栽帯の配置について、「タイプ①」と「タイプ③」に対してのご意見を伺いました。その結果、「タイプ①またはタイプ③でよい」というご意見が最も多く、地区①・②・④では約6割、地区⑥・⑦では約8割を占める結果となりました。

一方、「良くない」という意見の理由としては、「歩行者保護の観点から、自転車道と歩道は連続した植栽帯で分離させたほうがよい」・「歩行者が安心して歩けることが第一である」などの意見が寄せられました。



<地区①・②・④>



<地区⑥・⑦>

樹種

樹種について、これまでの検討会において頂いた候補に対してのご意見を伺いました。その結果、「良くない」というご意見が最も多く、地区①・②・④では約6割、地区⑥・⑦では約4割を占める結果となりました。「良くない」という意見の理由としては、地区①・②・④では高木の候補が落葉樹のみだったこともあり、主に「高木は常緑樹を希望」という意見が寄せられました。地区⑥・⑦でも同様に「高木は常緑樹を希望」という意見が寄せられた一方で、「高木は落葉樹とし中木を常緑樹とする」という意見も寄せられました。



<地区①・②・④>



<地区⑥・⑦>

◇副道タイプ

副道タイプでも緑地タイプと同様に、植樹帯の配置については、第1回地区検討会と第3回ブロック検討会において希望の多かった、自転車道と歩道の間を白線のみで分離する「タイプ①」と、一定の間隔で設置する植樹帯で分離する「タイプ④」に対してのご意見を伺いました。

また、樹種についても同様に、これまでの検討会において頂いたご意見から樹種の候補を用いて、それに対するご意見を伺いました。（高木については、地区①・②・④と地区⑥・⑦では候補とした樹種が異なります。また、緑地タイプと副道タイプでは同じ樹種を候補としています。）

<タイプ①>

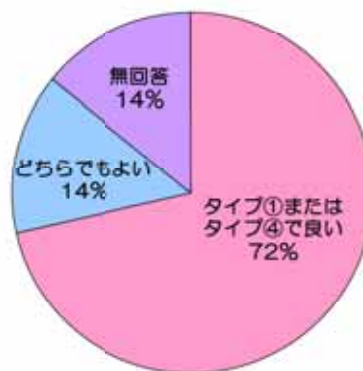


<タイプ④>

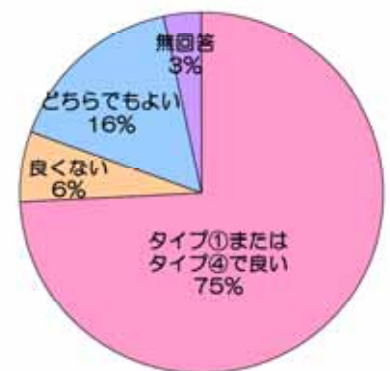


植栽帯の配置

植栽帯の配置について、「タイプ①」と「タイプ④」に対してのご意見を伺いました。その結果、「タイプ①またはタイプ④でよい」というご意見が最も多く、地区①・②・④及び地区⑥・⑦で約7割とほぼ同じ割合を占める結果となりました。一方、地区⑥・⑦での「良くない」という意見の理由としては、緑地タイプと同様に歩行者の安全確保に関する意見が寄せられました。



<地区①・②・④>



<地区⑥・⑦>

樹種

樹種について、これまでの検討会において頂いた候補に対してのご意見を伺いました。

その結果、地区①・②・④では「良くない」というご意見が最も多く、約6割を占める結果となりました。一方、地区⑥・⑦では「良い」という意見と「良くない」という意見が約4割とほぼ同じ割合という結果となりました。

「良くない」という意見の理由としては、緑地タイプと同様の常緑樹を望む意見が寄せられました。



<地区①・②・④>



<地区⑥・⑦>

◇樹種の候補（参考写真）



■今後の進め方

樹木は、道路や街並みの景観を構成する重要な要素のひとつです。また、道路を利用する方々や沿道にお住まいの方々にとっては、日常生活とも密接な関わりがあるため、その選定は重要な検討要素であると考えます。このため東京都では、これまで頂いたご意見を参考に一定の範囲内で採用する樹種や配置の絞込みを行いたいと考えています。

合同地区検討会では、これまで頂いたご意見に加え資料を用いて東京都案をご提示し、皆さんと検討を行ってまいります。その結果については、調布保谷線だより第8号でお知らせする予定です。

お問い合わせは

東京都北多摩南部建設事務所工事第一課
〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1

電話 042-330-1861

ホームページ <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kitanan/>

R100
古株ハリス配布率100%再生紙を使用

平成23年2月発行

平成22年度
登録12号